

第13回「風に出あう会」

～わたしのこころとあなたのこころのバリアを取り除くために～

この催しは、「誰もが“あたりまえの暮らし”ができる社会になるように、皆のこころがさわやかな“風に出あう”ように、参加される皆様方とのふれあいが出来ますように」と願って年1回開催し、今年第13回目を迎えました。今回は、午前中にはワークショップで参加者の皆さま全員で「千羽鶴」を折ります。午後からは少しほっこりする時間を持ちたいと思い「アコーディオン演奏と歌で交流」を開催する予定です。3.11 東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨災害、また新たに西日本豪雨災害等々、日本の至る所で多くの惨事が多発している昨今、避難中の暮らしの中で思いもよらない差別・偏見等に遭遇されている人たちがいること等も耳にします。“人は地域の中で暮らすことがあたりまえ”とされています。老若男女を問わず、誰もが傷つくことのない、偏見のない社会になるよう、協力し合って暮らしていけたらよいとの目的を持ってこの会を開催いたします。

日時：平成30年12月10日（月）

10時30分～16時30分（開場10時）

場所：ハートピア京都 大会議室

住所：京都市中京区烏丸丸太町下ル東側

交通：市営地下鉄 丸太町駅下車 5番出口すぐ

費用：無料 先着順（定員200名）

内容：午前：ワークショップ「参加者全員で千羽鶴を折りましょう！！」

∞ 私たちは3.11東北・各被災地を忘れない！千羽鶴に思いを託して ∞

昼休み：風化させてはいけないとの思いから震災に関する映像をお見せする予定です。

午後：アコーディオン演奏と歌で交流

～アコーディオンの調べにのせ参加者もともに歌い

楽しいひと時を過ごし“さわやかな風”に出あいましょう！！～

演奏者：山本忠生さん

山本忠生さんのプロフィール

宮津高校卒業後、京都の電機会社で働きながら、歌とアコーディオンに出会い、沢山の仲間に出会う。子供の頃から祭り太鼓、婦人会の踊りの三味線などをやり、ギターやピアノ、チェロも練習し、何にでもチャレンジする音楽好きに。「誰でも歌の主人公になれる」と、障害を持つ方も共に歌う合唱団「ポケット」の創立に関わる。各地でのうたごえ喫茶でアコーディオンを弾きながら、現在は、ひまわり合唱団でコンダクターを務める。

通称「忠やん」といえば 思い出される方もおられるのでは。

京野菜・漬物、手作り小物、コーヒー等の販売を予定しています。

主催 京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会 風のリンケージ・京都市

<問合せ先>京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会「風のリンケージ」事務局

京都市こころの健康増進センター相談援助課内

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30

TEL075-314-0355 FAX075-314-0504

市民による自治120年



申込み不要です。どなたでも皆さまお誘い合わせの上ご参加ください！

アコーティオン 演奏と歌で交流

日時：平成30年12月10日（月）

10時30分～16時30分（開場10時）

場所：ハートピア京都 大会議室 費用：無料（先着順）

午 前：ワークショップ「参加者全員で千羽鶴を折りましょう！！」

午 後：アコーティオン演奏と歌で交流

～アコーティオンの調べにのせ参加者もともに歌い

楽しいひと時を過ごし“さわやかな風”に出会いましょう！！～

～詳細は表面をご覧ください。～

シルバーリボンをご存じですか？

シルバーリボンは、脳や心に起因する疾患（障がい）およびメンタルヘルスへの理解を促進することを目的とした運動のシンボルです。

シルバーリボン運動は、1993年に米国カリフォルニア州で産声を上げました。長男が統合失調症を患い、その病と周囲からの無理解や偏見に苦しんだジーン・リーシェー氏が、統合失調症に対する理解を求めて手作りの銀のリボンを配ったことが始まりです。

それから9年後の2002年、シルバーリボン運動に大きな転機が訪れます。統合失調症を罹患しながらもゲーム理論の研究を行い、ノーベル経済学賞を受賞して、同じ病気で苦しむ方々に希望や勇気をもたらしたジョン・ナッシュ氏をモデルとした映画「ビューティフル・マインド」の監督ロン・ハワード氏が、アカデミー賞授賞式でオスカーを掲げながら、胸に輝くシルバーリボンをアピールしました。

シルバーリボン運動はそれをきっかけに、同年誕生した日本事務局を筆頭に、後にメキシコやシンガポールなど世界各国に広がっていきました。

「脳や心に起因する疾患（障がい）への理解ある社会の実現を目指す」、私たちシルバーリボンジャパンは、その理念を掲げて啓発活動を展開しています。

日本においても、精神保健福祉ボランティア活動のあらゆる場面において紹介され、拡がりを見せるようになりました。

このキャンペーンを行うことで、ひとりでも多くの人に、このリボンをつけてもらい、偏見や差別のない社会の実現を目指すことに貢献したいと考えています。

どうぞ、あなたもシルバーリボンを毎日、胸につけてください！

SILVER RIBBON CAMPAIGN
for the Brain
IN JAPAN

Since 1993

Buzz Aldrin
Tipper Gore
Ron Howard

…あなたの胸にシルバーリボン…
脳に障害がある人への偏見をなくすために、あなたにできること
(シルバーリボンキャンペーンはボランティアによる非営利活動です)

SILVER RIBBON CAMPAIGN
FOR THE BRAIN
IN JAPAN

空を飛ぶ 鳥たちは
人間を
障害者と思うだろう
でも空を飛べなくたって
みんなで協力しあえば
人間って
けっこう 楽しい
空は飛びたいけれど・・・